

選 手 注 意 事 項

1. 本大会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則と本大会申し合わせ事項により行う。
2. 選手の招集は、100mスタート側出入りロテントにおいて行う。
3. 招集は、次のような形式で行う。
 - イ. 選手は、招集開始時刻が来たならば、招集場に用意された招集用紙に、自分でチェックをする。その際、競技者係にアスリートビブスと腰ナンバーカードを提示する。
 - ロ. 選手は、招集完了後、トラック競技は10分前、フィールド競技は30分前に現地にて出発係、跳躍・投てき審判員の点呼を受ける。
なお、競技中はアスリートビブスを常に見えるようにしていなければならない。
- ハ. 招集開始時間及び招集完了時間は次のとおりである。

	予 選	決 勝
ト ラ ッ ク	競技 30 分前に招集開始 (20 分前に完了)	競技 25 分前に招集開始 (15 分前に完了)
フ ィ ー ル ド		競技 50 分前に招集開始 (40 分前に完了)

- ニ. リレーのオーダーについては、招集完了の1時間前までに、オーダー用紙を競技者係まで提出すること。(オーダー用紙は招集場に準備している)
4. 招集に遅れた選手、オーダー用紙の提出がないチームはすべて棄権とみなす。
 5. トラック、フィールドにまたがって同時刻に出場する選手は、代理をもって招集に応じ、本人はフィールド審判員に申し出、トラックの方を先に行うこと。
 6. 出場選手は、競技服装で競技し、その際アスリートビブスをユニフォームの胸、背の両面に付けなければならない。ただし、跳躍種目は胸、背のどちらかでもよい。
 7. トラックの予選レーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の上から下へ行う。以後の組み合わせは本部で行ない、正面入り口横の掲示板上で発表する。
 8. スパイク及びシューズについては規定に適合すること。スパイクのピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投げについては12mm以内とする。いずれの場合も本数は11本以内とする。
 9. 走高跳のバーの上げ方は、5cm単位とする。ただし、同記録になった場合、1位を決めるバーの上げ下げは2cmとする。最終的に2名になった場合より、お互いの合意によってバーのあげ方を決める。
 10. 円盤投、ハンマー投競技はメイン競技場内にて実施する(なお、公式練習は2回以内とする)。補助競技場での投てき練習は、危険防止のため禁止し、招集完了後役員の指示により競技場内で行う。
 11. 本部席前は通行を禁止するので、許可された人以外は通らないこと。
 12. やり投げの検定は競技開始の1時間前までに100mスタート横倉庫に持参すること。
 13. リレー競技に出場するチームは、同一ユニフォームで参加しなければならない。(形状は問わない。)
- ※ 裸足での競技は認めない。スパイクの使用は認める。